

2023 年 6 月 23 日

関係各位

株式会社パテント・リザルト

【ゼネコン】他社牽制力ランキング 2022

トップ 3 は清水建設、大成建設、竹中工務店

弊社はこのほど「ゼネコン業界」の特許を対象に、2022 年の特許審査過程において他社特許への拒絶理由として引用された特許件数を企業別に集計した「ゼネコン業界他社牽制力ランキング 2022」をまとめました。

この集計により、直近の技術開発において、競合他社が権利化する際に阻害要因となる「先行技術」を多数保有している先進企業が明らかになります。

集計の結果、2022 年に最も引用された企業は、1 位 **清水建設**、2 位 **大成建設**、3 位 **竹中工務店**となりました。

【ゼネコン業界 他社牽制力ランキング 2022 上位 10 社】

順位	企業名	引用された特許数
1位	清水建設	456
2位	大成建設	365
3位	竹中工務店	338
4位	鹿島建設	334
5位	大林組	327
6位	フジタ	140
7位	前田建設工業	110
8位	熊谷組	93
9位	戸田建設	87
10位	三井住友建設	80

【ランキングの集計対象について】

日本特許庁に特許出願され、2022 年 12 月までに公開された全特許のうち、2022 年 1 月～12 月末の期間に拒絶理由（拒絶理由通知または拒絶査定）として引用された特許を対象に、抽出・集計をしています。

また本ランキングでは、権利移転を反映した集計を行っています。2023 年 5 月時点で権利を保有している企業の名義でランキングしているため、出願時と企業名が異なる可能性があります。

なお各企業の業種につきましては、総務省の日本標準産業分類等を参考に分類しています。

1 位 **清水建設**の最も引用された特許は、昨年と同様に「予め設定した場所とは違う場所で建物検査を行う際の検査支援装置」に関する技術で、高砂熱学工業や沖電気工業などの計 4 件の審査過程で引用されています。このほかには「建設作業用ロボット」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、積水ハウスなどの計 3 件の拒絶理由として引用されています。

2022 年に、清水建設の特許によって影響を受けた件数が最も多い企業は大成建設（29 件）、次いで竹中工務店（26 件）、鹿島建設（25 件）となっています。

2 位 **大成建設**の最も引用された特許は「空間の温度などの環境物理要素の 3 次元空間分布をリアルタイムで把握できる空調環境モニタリングシステム」に関する技術で、三菱電機の計 5 件の審査過程で引用されています。このほか「トンネル用段取り筋構造および覆工コンクリート用鉄筋の設置方法」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、フジタなどの計 4 件の拒絶理由として引用されています。

2022 年に、大成建設の特許によって影響を受けた件数が最も多い企業は清水建設（35 件）、次いで竹中工務店（25 件）、鹿島建設（22 件）となっています。

3 位 **竹中工務店**の最も引用された特許は「駐車場における非常時送電制御システム」に関する技術で、ダイヘンやトヨタ自動車など計 4 件の審査過程において拒絶理由として引用されています。

2022 年に、竹中工務店の特許により影響を受けた件数が最も多い企業は清水建設（30 件）、次いで大成建設（24 件）となっています。

4 位 **鹿島建設**は「無人飛行体を用いた監視装置」、5 位 **大林組**は「建設向け立体造形用セメント質材料」が、最も引用された特許として挙げられます。

* * *

また弊社では、ランキングデータを下記の通り販売しています。

【ゼネコン業界 他社牽制力ランキング 2022 データ】

▶納品形態：以下のデータを収録したエクセルファイルをメールで御納品※

（※データ一式を収録した CD-R での御納品をご希望の場合はご相談ください）

- ・ランキング トップ 30 社：本業界の被引用件数上位 30 社のランキング
- ・被引用件数 トップ 100 件：本業界の被引用件数上位 100 特許、及び引用先の特許との対応

▶価格：50,000 円（税抜）

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社パテント・リザルト 事業本部 営業グループ

URL：<https://www.patentresult.co.jp/>

e-mail：info@patentresult.co.jp